

第25回 全国街路事業コンクール

国土交通大臣賞

徳島県

徳島東部都市計画道路 徳島東環状線 阿波しらさぎ大橋整備事業

都市名	徳島市	事業主体	徳島県
事業概要			
阿波しらさぎ大橋は、交通が集中する徳島市中心部の渋滞緩和を目的とした徳島外環状道路（延長35km）の東側を形成する都市計画道路 徳島東環状線（延長約10km）における中心的役割を担う橋長1,291mの橋りょうである。			
架橋位置の吉野川河口域には、広大な干潟があり、貴重な底生生物が生息し、渡り鳥の中継地・集団越冬地として知られるなど、豊かな自然が残っている。このため、ケーブル配置に工夫をこらした世界に類をみない構造形式である「ケーブルグレット形式」や河川への光の漏れの少ない「LED歩道高欄内照明」などの採用により、周辺の自然環境に配慮した設計・施工を行った。			
当橋梁の開通により、隣接する国道11号吉野川大橋の交通量が2割減少するなど、都市交通の円滑化に大きく寄与するとともに、ウォーキングなど健康増進の場としても活用されている。また、災害時における緊急輸送道路や津波に対する一時避難場所（歩道部）にも指定され、都市の防災性の向上にも役立っている。			
○事業延長：1,380m（うち、橋りょう部1,291m）		○幅員：26.3～32.3m	
○事業費：約304億円		○事業期間：平成12年度～平成23年度	
表彰理由			
本事業により、徳島東環状線が全線で通行できるようになったことで、都市中心部及び周辺での慢性的な渋滞の緩和が図られたほか、災害時の緊急輸送道路の確保や津波に対する一時避難場所など都市の防災機能を向上させたことが高く評価された。また、橋りょうの形式や、照明設備、施工方法など、周辺の環境や生態系に配慮されている点や、広い歩道を設けることで、県民の健康増進に寄与する空間を創出するなど、総合的な事業効果の高さが賞賛された。			



環境に配慮した構造（高欄内照明）

